



2024年8月6日

各 位

会社名 BASE株式会社
代表者名 代表取締役CEO 鶴岡 裕太
(コード番号:4477 東証グロース)
問合わせ先 取締役上級執行役員CFO 原田 健
TEL. 03-6441-2075

2024年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年8月6日開催の取締役会において、2024年5月9日に公表しました2024年12月期の連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2024年12月期通期連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	14,700	—	0	3	7	0円06銭
今回の修正予想 (B)	15,500	227	200	201	198	1円76銭
増減額 (B - A)	+800	—	+200	+198	+191	+1円70銭
増減率 (%)	+5.4%	—	—	+6,600.0%	+2,728.6%	+2,833.3%
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	11,680	△422	△425	△409	△606	△5円31銭

(注)EBITDAは、営業利益に減価償却費、のれん償却費を加えて算出

2. 修正の理由

BASE事業は、新規ショップ開設数がCOVID-19感染拡大前の水準で推移し、月間売店数が想定をわずかに下回る状況を受け、流通総額(注文日ベース)は151,000百万円(前回予想154,000百万円)、PAY.JP事業は上半期の想定を超える力強い成長を踏まえ、流通総額(決済日ベース)は202,000百万円(前回予想187,000百万円)と見込んでおります。

このような状況においてBASE事業では、月額有料プラン(グロースプラン)の値上げに加え、有料の拡張機能の提供等により、テイクレートの向上に取り組んでいます。PAY.JP事業においても、2024年6月に実施し

た料金体系の適正化及び原価率の改善により、売上総利益率の向上に継続的に取り組んでいます。さらに、その他事業に含まれる「YELL BANK」は、機能改善の効果等により、利用ショップ数及び利用金額が好調に推移しております。その結果、上半期においては、PAY.JP事業及びその他事業の売上高が想定以上に成長しました。

上記に加え、2024年8月6日の取締役会において、BASE事業の越境EC機能の強化を目的としたwant.jp株式会社の連結子会社化を決議いたしました。want.jp社の実績は既存の事業とは独立したセグメントとして計上する予定です。2024年12月期連結業績への影響は、売上高403百万円、売上総利益165百万円、営業利益34百万円程度の見込みです。

販売費及び一般管理費は、主に「BASE」及び「Pay ID」でのプロモーション費の増加と子会社化の影響により、前回予想から増加する見込みです。

以上を踏まえ、当社は2024年12月期通期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、業績予想の詳細につきましては、本日開示の「2024年12月期第2四半期決算説明会資料」もあわせてご参照ください。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、また、監査法人による会計監査前の数値であるため、実際の業績は、様々な要素により上記とは異なる可能性があります

以上